

JAFICA が取り組むうちエコ診断

(環境省による“家庭での地球温暖化対策”推進プロジェクト)

世界中でCO₂削減が進められている今、環境省による家庭部門の省エネ(CO₂削減)推進に活用を図る[うちエコ診断士]を養成制度が試行され本年が最終年、平成26年度から実施段階となる。家庭の省エネは住生活に直結し、インテリア領域と関わっているJAFICA(日本フリーランスインテリアコーディネーター協会)は、有志メンバーを中心に[うちエコ診断]に取り組むことになった。生活環境に合わせたご提案の出来るインテリアコーディネーターが、診断員の資格を持ち家庭のCO₂削減に貢献できることは、付加価値が付き必要なスキルと考えている。

■「うちエコ診断」の概要

- ・家庭における省エネ対策の専門知識を持ち、「エコ診断ソフト」が使える診断士を認定し、家庭部門の省エネ(CO₂削減)推進に活用を図る仕組み。
 - ・実施機関として認定された企業、団体等が[うちエコ診断士]を養成し、診断希望家庭のエコ度を診断し、省エネ対策を提案して、後日その成果を確認するなど、家庭人の環境意識を高めつつCO₂削減の実効を図る。
- ・この制度は本年が試行期間(3年)の最終年、平成26年度から実施段階となる。

■インテリア領域との関わり

- ・家庭の省エネは住生活に直結し、インテリア領域と関わりがあり、特にインテリアコーディネーターにとっては、業務の一部に含まれる内容でもあるため、その仕組みを確認して置く必要がある。※(そのまま放置しておくICの仕事領域が侵略される恐れもある)
- ・一方で、インテリアコーディネーターのスキルアップのツールとして、適切に活用するという可能性もある。

■IC資格者グループの対応

- ・JAFICA(日本フリーランスインテリアコーディネーター協会)の有志メンバーを中心に「JAFICA うちエコ研究会(10数名)」を組織し試行実施機関として参加し、9月に3名、1月にはさらに4名の診断員も承認され、現在「うちエコ診断」を実施している。

■日経リフォーム&インテリア会場で「うちエコ診断」実施

- ・9月27日～29日開催の日経リフォーム&インテリアのJAFICAのブースで3日間「うちエコ診断」実施した。3名の診断員に9名のお客様での実施となった。

<診断員の感想>

- ・具体的なエコ意識の向上に有意義なソフトであり、カエルのキャラクターも、とっつき易い印象を与える。
- ・生活環境に合わせたご提案の出来るインテリアコーディネーターが、診断員の資格を持つことは付加価値がつく必要なスキル。(詳しくは別紙)

<お客様の感想>

- ・うちエコ診断を受けてから、自宅のエコに対する意識が変わった。エコを意識するようになった。(詳しくは別紙)

■今後の対策

- ・12月までに診断実績を増やし、その結果をまとめ、インテリアコーディネーター業務との関係等を整理し、今後の対応を検討する資料にしていく予定。
- ・この試行事業に参加している企業としては、各地の工務店組合、ガス・電気などエネルギー供給企業、大型家電店など多岐にわたる。
- ・環境省が最終的にどのような方向でこの制度を実施していくか、未だ見えてこない部分もあり、今後も注視していく必要がある。環境評価の要素としての適性についても検討する。